

# 日本歴史言語学会 2020 年大会

## 開催のご案内

春先からコロナウイルスの影響が今まで続いておりますが、会員の皆様におかれましては、お元気にお過ごしのことと存じます。

さて、本年も日本歴史言語学会の大会のご案内をさせていただき時期を迎えました。今年、第10回記念大会として関西学院大学での開催を準備しておりましたが、コロナ禍の中、遠隔での一日での開催という形となりました。

このような中、今年は7本の研究報告をプログラム致しました。幅広い分野での研究成果に触れていただくとともに、交流を深めていただければ嬉しく思います。以下のプログラムをご高覧の上、よろしくご参加ください。

日本歴史言語学会 会長 上野 貴史

### 記

開催日時 2020年11月28日(土)

開催形態・場所 遠隔開催(開催本部:広島大学)

※ 学会設立10周年記念講演および懇親会については、今年の特別な事情を考慮し、中止といたします。

※ 遠隔開催にはZoomを使用します。アドレスおよび発表者の配布資料等は、後日会員全員に配布予定です。

大会委員長 櫻井 健(愛知県立大学)

大会実行委員長 川村 悠人(広島大学)

大会参加費 無料

※ 今年の大会は非会員も無料で参加可能です。参加ご希望の方は、11月20日(金)までに日本歴史言語学会事務局([info@jp-histling.com](mailto:info@jp-histling.com); @を半角に変えてお使いください)まで、氏名・所属を添えてご連絡ください。その他不明の点は、p.3の各種窓口にお問い合わせください。

# 日本歴史言語学会 2020 年大会

## プログラム

9:30 ~ 9:45 開会の辞 会長 上野 貴史 (広島大学)

9:50 ~ 10:25 口頭発表 1 司会：櫻井 健 (愛知県立大学)

大西 貴也 (東京大学大学院)	古デンマーク語従属節の語順から見る統語法の変化
--------------------	-------------------------

10:35 ~ 11:10 口頭発表 2 司会：上野 貴史 (広島大学)

吉武 大輝 (西南学院大学大学院)	日本語とフランス語における生起表現の進化類型 ——偶有性の有無がもたらす表現交替現象と補文推移の 差異に注目して——
----------------------	--

11:20 ~ 11:55 口頭発表 3 司会：尾園 絢一 (東京大学)

笠松 直 (仙台高等専門学校)	梵文『法華経』諸伝本における動詞 <i>ram</i> の活用形の推移と 写本伝承
--------------------	--

12:00 ~ 13:00 休憩

13:00 ~ 13:40 総会

13:45 ~ 14:20 口頭発表 4 司会：佐藤 知己 (北海道大学)

南 徳鉉 (パヴィア大学大学院)	アイヌ語の所属接尾辞の形成過程
---------------------	-----------------

14:30 ~ 15:05 口頭発表 5 司会：堂山 英次郎 (大阪大学)

宮川 創 (関西大学東西学術研究所)	コプト語の成節子音と文献上の補助記号：音韻論と 文字論のインターフェース
-----------------------	---

15:05 ~ 15:25 休憩

15:25 ~ 16:00 口頭発表 6 司会：田中 俊也 (九州大学)

村岡 宗一郎 (日本大学大学院)	英訳聖書における使役動詞 <i>make</i> と <i>cause</i> の競合関係と <i>make NP to-Inf</i> の衰退原因について
---------------------	---

16:10 ~ 16:45 口頭発表 7 司会：高田 博行 (学習院大学)

海田 皓介 (明治大学)	古英語と古高ドイツ語の 2 つの文献における「奨励」の 概念について
-----------------	---------------------------------------

16:45 ~ 17:00 閉会の辞 副会長 佐藤 知己 (北海道大学)

## お知らせ

### 入会と会費納入

日本歴史言語学会では会費を低額に抑える方針を採り、専門の研究者、その志望者のみならず、言語の歴史的研究にかかわるあらゆる方の入会・参画を歓迎しています。入会には以下2点が必要です。詳しくは <http://jp-histling.com/information/admission/> をご覧ください。

#### 1. 入会申込書の提出

大会受付でも記入・提出できますが、受付の混乱と転記ミス防止のため、メール添付での事前提出をお勧めします。入会申込書は上記URLから入手できます。

#### 2. 年会費の納入（現会員の方も御高配ください）

年会費は大会受付でも納入できますが、なるべく郵便振替口座をご利用ください。郵便局備え付けの払込用紙を利用し、通信欄にはおところ、お名前、払込金の用途（例えば「普通会員2020年会費」）とメールアドレスを記載してください。郵便局（ゆうちょ銀行）以外の一般銀行やネットバンクからも納入できます。なお、2017年度から会費が変更されています。ご注意ください。

普通会員	6,000円（下記以外の会員）
学生会員	3,000円（学生である会員）
シニア会員	3,000円（定年退職後定職を持たない会員）
賛助会員	10,000円（一口）（趣旨に賛同する法人等）

郵便局から	他行から
郵便振替口座 00980-7-217339 日本歴史言語学会事務局	ゆうちょ銀行〇九九店 当座預金 0217339 日本歴史言語学会事務局

### 学会誌『歴史言語学』

日本歴史言語学会の学会誌『歴史言語学』（*Historical Linguistics in Japan: HLJ*）はわが国の歴史言語学徒を繋ぐ市販の定期刊行物です。会費改定に伴い、2017年度より会費を完納いただいた会員には該当年度発行の最新号を無償で提供することになりました（6号～）。既刊1～5号については各種書店、Amazon.co.jpからお求めください。また6号以降については学会事務局までお問い合わせください。

### お問い合わせ

遠隔開催について：大会実行委員長 川村 悠人（広島大学）[yuto0619@hiroshima-u.ac.jp](mailto:yuto0619@hiroshima-u.ac.jp)

大会全般について：大会委員長 櫻井 健（愛知県立大学）[sakurai@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:sakurai@for.aichi-pu.ac.jp)

その他：事務局長 堂山 英次郎（大阪大学）[info@jp-histling.com](mailto:info@jp-histling.com)

@を半角に変えて御利用ください。

日本歴史言語学会 Japan Society for Historical Linguistics: JSHL 会長 上野 貴史 <a href="http://www.jp-histling.com">http://www.jp-histling.com</a>
---